

【確定版】



# 令和6年度 江戸川区立篠崎中学校 学校経営計画



チャレンジクラスの教室  
令和6年4月1日開級

令和6年4月1日  
江戸川区立篠崎中学校  
校長 紅林 兼一



令和6年度

江戸川区立篠崎中学校 学校経営計画

## もくじ

もくじ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
1	【中期目標】令和6年度 教育指導課重点事業 概要	P 3
2	本校の現状	P 4
3	教育目標	P 4
4	スローガン	P 4
5	目指す学校像	P 4
6	RPDCAサイクルに基づいた教育計画の流れ	P 4
7	【令和6年度学校経営計画】基本方針と具体的方策	P 5
	全体共通 ～通常学級～	P 8
	基本方針（1）基礎的・基本的事項の定着	P 9
	基本方針（2）学習指導要領に対応した教員の指導力向上	P 9
	基本方針（3）豊かなスポーツライフの実現に向けた取組の充実	P 10
	基本方針（4）自己と他者を大切に、多様性を認め合える 人権尊重意識の涵養	P 11
	基本方針（5）生徒理解に基づいた支援の充実	P 12
	基本方針（6）不登校支援の充実	P 13
	基本方針（7）共生社会の実現に向けた特別支援教育の推進	P 14
	基本方針（8）地域コミュニティの拠点としての取組の充実	P 16
	基本方針（9）学校情報の積極的な配信	P 17
	基本方針（10）学校関係者評価の活用・充実	P 17
	基本方針（11）教員の生徒と向き合う時間の確保	P 19
	基本方針（12）より良い学校設備の整備・充実	P 20
	基本方針（13）食育の推進	P 20

特別支援学級 ～8組～ P22

基本方針（1）基礎的・基本的事項の定着	P23
基本方針（2）学習指導要領に対応した教員の指導力向上	P23
基本方針（3）豊かなスポーツライフの実現に向けた取組の充実	P24
基本方針（5）生徒理解に基づいた支援の充実	P24
基本方針（7）共生社会の実現に向けた特別支援教育の推進	P25

チャレンジクラス ～9組～ P26

基本方針（1）基礎的・基本的事項の定着	P27
基本方針（2）学習指導要領に対応した教員の指導力向上	P27
基本方針（3）豊かなスポーツライフの実現に向けた取組の充実	P28
基本方針（5）生徒理解に基づいた支援の充実	P29
基本方針（6）不登校支援の充実	P30
基本方針（7）共生社会の実現に向けた特別支援教育の推進	P30
基本方針（8）：地域コミュニティの拠点としての取組の充実	P31

# 1 【中期目標】教育指導課重点事業 概要



## 2 本校の現状（令和5年度学校評価および令和5年度校長所見）

### （1）成果

- ① 学力・体力については一定程度の成果が出ている。
- ② 読書科指導指針については、一部できるようになってきた。
- ③ 体力向上については一定の成果が上がってきている。
- ④ 不登校対策については、様々な取組がスタートした。
- ⑤ 交流及び共同学習については、大きく前進した。
- ⑥ 多様な部活動の在り方については準備が整った。
- ⑦ RPDCA サイクルに基づいた学校評価が一定程度できている。
- ⑧ 学校財産については、随分と整理できてきた。

### （2）課題

- ① 英語科の取組み強化が重要である。
- ② 読書科指導指針に準拠した読書科について全学年での取組みにする。
- ③ 不登校については、取組はスタートしたが、成果指標の明確化が必要である。
- ④ ICTの活用した指導力向上や校務改善は強化する必要がある。
- ⑤ 交流及び共同学習については、継続しての取組みが重要。
- ⑥ 学校財産については、次年度さらなる整理を図る。

## 3 教育目標

- ・よく学び、深く考える生徒
- ・思いやりと規範意識のある生徒
- ・すすんで体を鍛える生徒
- ・社会に貢献する生徒

## 4 スローガン

「もっと、踏み出す!!!」

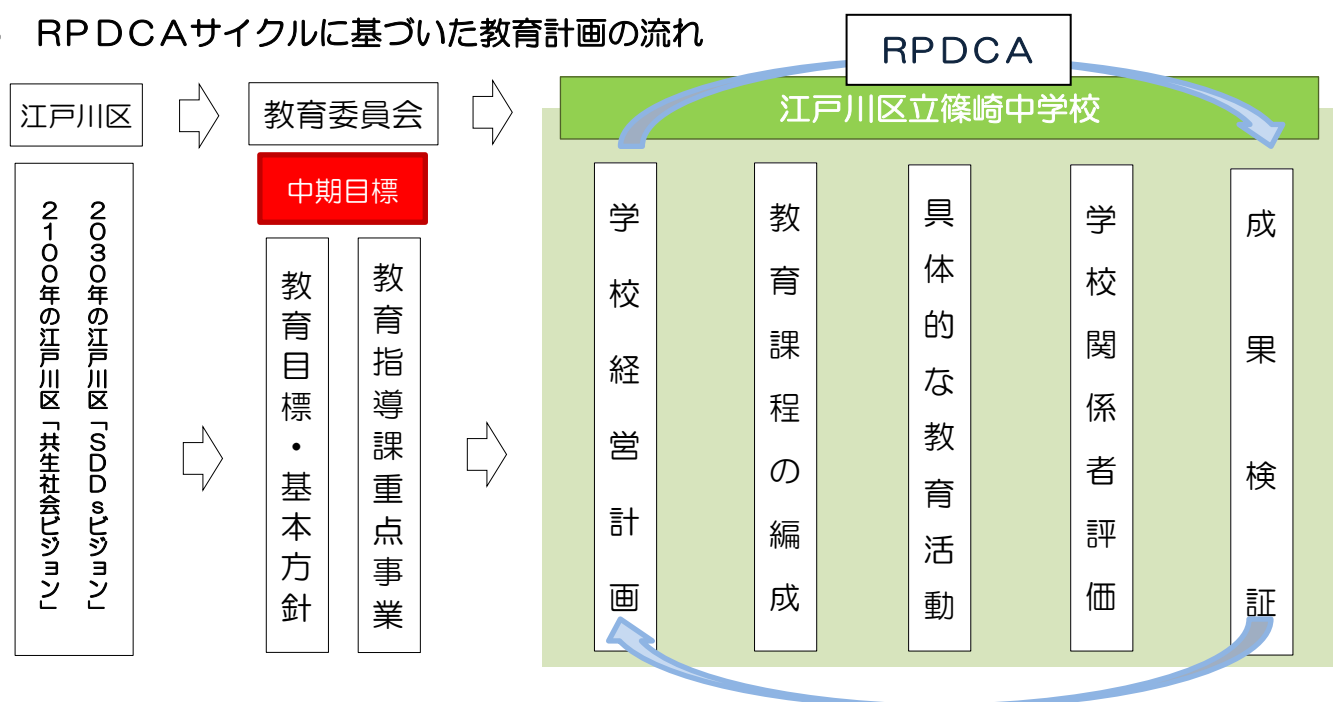
## 5 目指す学校像

上記、中期目標を達成するための

《目指す教師像》 生徒のやる気に火を付けられる教師

《目指す子供像》 主体的に考え、行動できる生徒

## 6 RPDCAサイクルに基づいた教育計画の流れ



## 7 【令和6年度学校経営計画】基本方針と具体的方策

中期目標	基本方針	具体的方策 (赤字は数値目標のある方策)	ページ	
全体共通(通常学級)	1 学力の向上 <small>基礎的対応による学力向上</small>	(1)基礎的・基本的事項の定着	①放課後補習を活用しての基礎的・基本的事項の定着	P9
		(2)学習指導要領に対応した教員の指導力向上	②国際交流(直接交流・間接交流)を軸にした英語教育の充実	P9
	2 体力の向上 <small>運動量の向上や 健康の増進</small>	(3)豊かなスポーツライフの実現に向けた取組の充実	①本校の課題を意識した保健体育科の授業における補助運動の充実 ②「フィットネスエリア」を活用した個に応じたトレーニングの充実	P10 P10
		3 子どもたちの健全育成 <small>健全育成・不登校対策・教育相談の強化</small>	(4)自己と他者を大切に、多様性を認め合える人権尊重意識の涵養	①ローテーション授業による様々な教員による多様性を意識した道徳授業の充実 ②職員の人権尊重教育に係わる研修の充実(フィールドワーク等)
	(5)生徒理解に基づいた支援の充実		①生徒会予算を投じた、より主体的な生徒会活動の活性化 ②「いいとこ見つけ週間」を設定しての全教員による全生徒への称賛を与える機会の確保	P12 P12
	(6)不登校支援の充実		①気になる生徒の支援に向けたSC・SSWによる医療や福祉等の関係機関へのつなぎの徹底 ②ほっとルーム及びチャレンジクラスを活用した支援の充実	P13 P13
	4 共生社会の実現に向けた教育の推進 <small>個性の特性に応じた指導・支援の充実</small>	(7)共生社会の実現に向けた特別支援教育の推進	①日常的な交流及び共同学習の機会を設定した、交流及び共同学習の更なる充実	P14
			②全教員による年間1回以上の特別支援学級における出前授業の実施	P14
			③「学びのユニバーサルデザイン」を取り入れた授業の工夫改善	P14
	5 地域に開かれた学校の実現 <small>教育活動の積極的な発信と充実・改善</small>	(8)地域コミュニティの拠点としての取組の充実	①地域やNPO・大学等と連携した多様な部活動を設置	P16
			②地域と連携を図った地域の方々による第三学年全員面接の実施 ③1人1ボランティア運動の推奨(地域祭り、夏ボラ等)	P16 P16
		(9)学校情報の積極的な配信	①動画等を配信しての積極的な情報発信	P17
		(10)学校関係者評価の活用・充実	①「地域とともにある学校づくり」の実践研究	P17
6 その他 <small>本校の教育課題への対応</small>	(11)教員の生徒と向き合う時間の確保	①篠崎中学校「働き方改革推進計画」に基づいた働き方改革の進捗管理	P19	
	(12)より良い学校設備の整備・充実	①学校のデッドスペースを活用した、教育スペースの確保・有効活用	P20	
	(13)食育の推進	①生徒の食育を意識したSDGs給食等の更なる充実	P20	
特別支援学級(8組)	1 学力の向上	(1)基礎的・基本的事項の定着	①学年の枠を超えた3クラス2~3展開の習熟度別学習の実施	P23
		(2)学習指導要領に対応した教員の指導力向上	②各教科等の目的や自立活動、作業学習等の目標を意識した適正な教育課程の編成	P23
	2 体力の向上	(3)豊かなスポーツライフの実現に向けた取組の充実	①朝のトレーニング週間を設定しての体力の向上	P24
	5 子どもたちの健全育成	(5)生徒理解に基づいた支援の充実	①野菜や雑巾販売、喫茶店などPTAと連携した作業学習の充実	P24
4 共生社会の実現に向けた教育の推進	(7)共生社会の実現に向けた特別支援教育の推進	①日常的な交流及び共同学習の機会を設定した、交流及び共同学習の更なる充実 ②全ての通常学級担当教員による年間1回以上の出前授業の受け入れ体制の構築	P25 P25	
チャレンジクラス(9組)	1 学力の向上	(1)基礎的・基本的事項の定着	①学年の枠を超えた3クラス6展開の習熟度別自由進度学習の研究	P27
			②音楽科、美術科、技術科、家庭科における、週時程に弾力性をもたせた指導の実施	P27
			③定期考査を廃止し、評定によらない評価の実施、個の学習進度に応じた実力テストを実施	P27
	2 体力の向上	(3)豊かなスポーツライフの実現に向けた取組の充実	①理科・社会科における、自己の課題の解決に向けた調べる学習と定期的な発表会をの実施	P27
			①専門家等と連携した自律神経を整える運動、通称名「リラックス」の実施	P28
	5 子どもたちの健全育成	(5)生徒理解に基づいた支援の充実	①標準服や体育着の着用を求めないなど、生徒の実態に応じた「きまり」の抜本的な見直し	P29
			②日々の記録を綴ることができる連絡帳「マイライフ」を活用した支援 ③登校後の朝の時間を活用し、ソーシャルスキルトレーニング(SST)の実施	P29 P29
		(6)不登校支援の充実	①登校コースとオンラインコースを設定した指導体制を構築	P30
			②従来の教室環境を一掃し、生徒がより主体的に学べる教室環境の整備・充実 ③「ほっとルーム」をプレ学級(準備学級)と位置付け、学習意欲の向上等、入級準備 ④年間を通じた農業体験やセカンドスクール等、平素と異なる生活環境での体験的な学習を実施	P30 P30 P30
	4 共生社会の実現に向けた教育の推進	(7)共生社会の実現に向けた特別支援教育の推進	①特別支援学級との交流給食の実施	P30
5 地域に開かれた学校の実現	(8)地域コミュニティの拠点としての取組の充実	①ボランティアセンターと連携をした年間を通してのボランティア活動を案内、推奨	P31	



<【中期目標】教育指導課重点や基本方針と具体的方策の見方>

「右上段」は、【中期目標】教育指導課重点  
 「下段」は、本校の教育目標を達成するための令和6年度基本方針

【中期目標1】学力の向上

### 基本方針（1）：基礎的・基本的事項の定着

#### 具体的方策

- ① 放課後補習を活用しての基礎的・基本的事項の定着
- ② 国際交流（直接交流・間接交流）を軸にした英語

**数値目標**

← 国学力調査国語・数学・英語の平均正答率が、都の平均値以上

R5 ⇒ 国語：本校 74%、都 72%、国 70%

          数学：本校 55%、都 54%、国 50.6%

          英語：本校 50%、都 51%、国 45.2%


取組イメージ

**放課後補習**

- ・希望した生徒が、民間会社から派遣された講師の指導を受け、
- 数学（算数）・英語の基礎・基本の定着を図る。

**国際交流**

- ・アメリカからの大学生との交流や韓国中学生との交流等、直接交流
- だけでなく、間接交流等も含め、国際理解意識の醸成を図る。



【中期目標1】学力の向上

### 基本方針（2）：学習指導要領に対応した教員の指導力向上

#### 具体的方策


- ① 調べる学習コンクール等の出品を軸にした、読書科指導指針に基づいた「読書科」の充実をする。

← 図書館を使った調べる学習コンクールへ300人以上が出品

R5年度 ⇒ 176名（内 区内金賞2名）

「取組イメージ」は、取組概要を分かり易く図等を使い説明したもの

例校の指定を受け、「読書を通して探求的な学習を通して、生涯にわたって主体的に学び続けるための資質・能力」を育成する特別の教科







全体共通  
通常学級

## 基本方針（1）：基礎的・基本的事項の定着

### 具体的方策

- ① 放課後補習を活用しての基礎的・基本的事項の定着を図る。
- ② 国際交流（直接交流・間接交流）を軸にした英語教育の充実をする。

#### 数値目標

国学力調査国語・数学・英語の平均正答率が、都の平均値以上

R5 ⇒ 国語：本校 74%、都 72%、国 70%

数学：本校 55%、都 54%、国 50.6%

英語：本校 50%、都 51%、国 45.2%



取組イメージ

#### 放課後補習

- ・希望した生徒が、民間会社から派遣された講師の指導を受け、数学（算数）・英語の基礎・基本の定着を図る。



#### 国際交流

- ・アメリカからの大学生との交流や韓国中学生との交流等、直接交流だけでなく、間接交流等も含め、国際理解意識の醸成を図る。

## 基本方針（2）：学習指導要領に対応した教員の指導力向上

### 具体的方策

- ① 調べる学習コンクールへの出品を軸にした、読書科指導指針に基づいた「読書科」の充実をする。

図書館を使った調べる学習コンクールへ 300 人以上が出品

R5年度 ⇒ 176 人（内 区内金賞 2 名）



#### 読書科

江戸川区が国の教育課程特例校の指定を受け、「読書を通じた探究的な学習を通して、生涯にわたって主体的に学び続けていくための資質・能力」を育成する特別の教科



## 基本方針（3）：豊かなスポーツライフの実現に向けた取組の充実

### 具体的方策

- ① 本校の課題を意識した、保健体育科の授業における補助運動の充実をする。
- ② フィットネスエリアを活用した、個に応じたトレーニングの充実をする。

#### 数値目標

「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」で、

D・E判定の生徒が、全体で20%以下

R5→1年	男子：50.0%	女子	15.8%
2年	男子：27.9%	女子	9.2%
3年	男子：27.5%	女子	21.7%
全体	22.9%		



取組イメージ

#### 補助運動

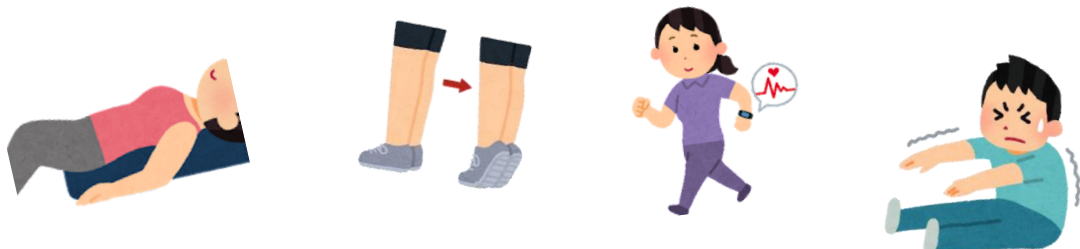
各單元における技や技術と関連させた補助運動や部分練習等を意図的・計画的に実施  
参考例一部

陸上・・・スクワット歩き・腕振り、サイドステップ、ハーキーステップ  
器械運動・・・カエル、犬、ペンギン、蜘蛛等の歩き  
水泳・・・腰掛けキック、イルカ跳び、20秒間泳  
球技・・・片手パス（ショート、ロング）、ラダーステップ、カラーコーンダッシュ  
ダンス・・・3ウェイ背筋、足上げ腹筋、ストレッチ  
剣道・・・四股、仰向けでの首上げ、素振り  
これらを例に一つの運動を正確に20～30秒程度全力で行う運動を数セット実施

#### 「フィットネスエリア」

部活動との連携や放課後のトレーニング部等でトレーナーとともに、主体的に自己の筋力等を整えることができるスペースを設置。

※ あくまでも、中学生期に必要なトレーニングを中心とする



## 基本方針（4）：自己と他者を大切にし、多様性を認め合える 人権尊重意識の涵養

### 具体的方策

- ① 様々な教員のローテーション授業による多様性を意識した道徳教育の充実をする。
- ② 職員の人権尊重教育に係わる研修の充実（フィールドワーク等）

#### 数値目標

- ・ いじめに関わる授業について、全学級年間3回以上実施
- ・ 重大事態事案「0」



取組イメージ

#### 「ローテーション授業」

様々な教師が交代で学年の全学級を回って授業を行うことを意味している。  
より多くの教員が、それぞれの経験や価値観をもとに、生徒と「考え、議論する道徳」を展開する。



#### 人権教育に係わる研修（フィールドワーク）参考例一部

東京都人権プラザ、国立療養所多磨全生園・国立ハンセン病資料館  
お肉の情報館、観臓記念碑（小塚原回向院）、東京都立皮革技術センター東京江戸東京博物館、アイヌ文化交流センター 等



## 基本方針（5）：生徒理解に基づいた支援の充実

### 具体的方策

- ① 生徒会予算を投じた、より主体的な生徒会活動の活性化を図る。
- ② 「いいところ見つけ週間」を設定しての全教員による全生徒への称賛を与える機会を確保する。

#### 数値目標

hyper-QU<sup>※2</sup> 2回目において、学級生活不満足度群が全体の10%以下  
R5→1年：16% 2年：16% 3年：17%



#### 生徒会予算を投じての生徒会活動の活性化

概ね10万円程度の予算を投じて、江戸川区子どもの権利条約に基づいた、子供たちによる、子供たちのための生徒会組織の活性化を図る。

子供の権利条約：子どもが生まれながらにして持っている大切な権利を江戸川区全体で守っていく。



#### いいところ見つけ

概ね2週間程度の「いいところ見つけ週間」を設定し、教師が即時的な賞賛を行い記録する。記録を残すことにより、賞賛を与えていない生徒の把握を行い、期間内に全生徒を褒める機会を設定する。



C4<sup>th</sup>「いいところみつけ」

#### 注釈

※2 hyper-QUとは、学校生活における生徒の満足度や意欲、学級集団の状態等を質問紙によって測定するもの

## 基本方針（6）：不登校支援の充実

### 具体的方策

- ① 気になる生徒の支援に向けた SC・SSW による医療や福祉等の関係機関へのつなぎを徹底する。
- ② ほっとルーム（校内別室）及びチャレンジクラス（教員を配置した校内別室学級）を活用したきめの細かい支援の充実をする。

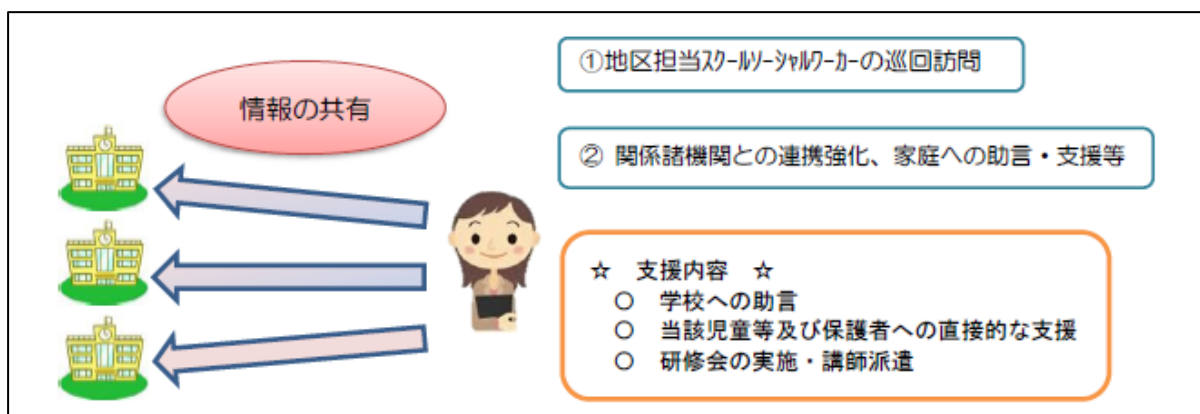
#### 数値目標

不登校もしくは長期欠席者のうち、外部専門機関につながない生徒0人  
R5 → 0人



### SSW による関係機関へのつなぎ

趣旨： 学校だけでは 解決困難な、学校・家庭が抱える健全育成上の諸問題に関する 事案解決に向けて、SC・SSW を活用し、外部関係機関につなげる



### ほっとルーム

不登校・不登校傾向の生徒に対して、以下を目的として、登校を促し、教室復帰や他機関につなげることを目的とする。

- ・ 継続的な登校を支援することで、一人一人の生徒の悩みや不安などの原因を把握
- ・ 学校・学級に対する所属感や安心感を維持させる。
- ・ 登校することにより、生活習慣の安定を図る。

### チャレンジクラス（9組）

生徒が、安心して学校生活を送ることができるようなゆとりのある生活時程を実現し、学習保証、心理的な支援を行うクラス。

登校コース：各学年10名程度

オンラインコース：各学年5名程度





## 基本方針（7）：共生社会の実現に向けた特別支援教育の推進

### 具体的方策

- ① 日常的な交流及び共同学習の機会を設定し、交流及び共同学習の更なる充実をする。
- ② 全教員による年間1回以上の特別支援学級における出前授業を行う。
- ③ 「学びのユニバーサルデザイン」を取り入れた授業の工夫改善をする。

#### 数値目標

- 全教員でユニバーサルデザインを活用した授業等の工夫事例集を増補
- 全通常学級担当教員による出前授業の実施

#### 取組イメージ

##### 交流及び共同学習（一部参考例）

- （仮称）副籍学級を指定し、給食や行事、部活動等で、日常的に交流
- 音楽、美術、保健体育、技術、家庭の実技教科を中心に、本人及び保護者の希望に応じて、共同学習を実施



##### 全教員による特別支援学級における出前授業の実施

教員の資質向上を目的として、全ての教員が、特別新学級において、年間最低1回以上の出前授業を行い、「わかる授業」の手がかりとする。

##### 「学びのユニバーサルデザイン」＜ガイドライン＞

###### 原則Ⅰ 提示（理解）のための多様な方法を提供する

ガイドライン1 知覚するための多様なオプションを提供する

ガイドライン2 言語、数式、記号のためのオプションを提供する

ガイドライン3 理解のためのオプションを提供する

###### 原則Ⅱ 行動と表出のための多様な方法を提供する

ガイドライン4 身体動作のためのオプションを提供する

ガイドライン5 表出やコミュニケーションに関するオプションを提供する

ガイドライン6 実行機能のためのオプションを提供する

###### 原則Ⅲ 取組のための多様な方法を提供する

ガイドライン7 興味を引くために多様なオプションを提供する

ガイドライン8 努力やがんばりを継続させるためのオプションを提供する

ガイドライン9 自己調整のためのオプションを提供する

## <「学びのユニバーサルデザイン」一部参考例>

### ガイドライン1 知覚するための多様なオプションを提供する

#### 教師の説明を他の方法で、聴覚的・知覚的に提示する

##### 1 支援・配慮

視覚的・聴覚的に提示される情報を代替の方法で提供する。

##### 2 説明

「作品完成までの工程がわからない」「前次の作業内容がまだ終わっていない」「全体指導だけでは不安」など、作品作りの理解度や作業スピードは個々様々です。そこで、「技法の基本動画」「完成までの動画」「ポイントを記載したスライド」を学習者用端末上でいつでも確認できるようにし、自主的・主体的に取り組めるよう配慮しました。



### ガイドライン3 理解のためのオプションを提供する

#### 単元のオリエンテーションで基本用語の確認、動画を紹介

##### 1 配慮・支援

背景となる知識を提供する。

##### 2 説明

単元の1時間目にはオリエンテーションを実施し、その単元の見通しを立てさせる。また、どのような運動・スポーツなのか、授業で理解すべきことは何かをプリントや副教材を使い学習させる。また、中学生になって初めて取り組むスポーツもあるため、いつでも動画を見られるようにteams に選手の動きや試合の様子のYouTube動画を貼り付けている。



### ガイドライン4 身体動作のためのオプションを提供する

#### 勉強がしやすくなる文房具の紹介や選び方のポイントを紹介

##### 1 支援の具体

教員へのアクセスを最適にする。

##### 2 説明

「鉛筆の持ち方が悪い」「コンパスや定規などの作図道具が上手に使えない」などで困っている子どもがいます。そこで、書きやすさや使いやすさを推奨するマス目のノートや作図道具などをさりげなく、保護者会等で紹介します。すると、実は他の生徒にも使いやすいことが分かり、学校全体に意識が広がります。



### ガイドライン5 表出やコミュニケーションに関するオプションを提供する

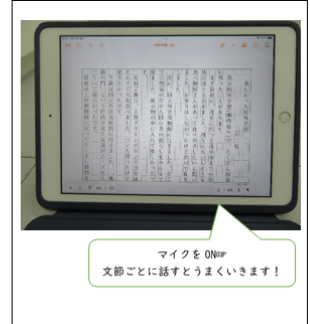
#### 音声入力で作文が苦にならない?!

##### 1 配慮・支援

作文に多様なツールを使う。

##### 2 説明

作文を書くのが苦手な生徒はたくさんいます。そこで、生徒が一人一台もっているタブレットの機能に「音声入力」があります。運動会、校外学習など行事の後の作文を書くときに、タブレットが手書きかを自由に選択し、さらに音声入力ができるとなると、作文への苦手意識が少し減少します。音声入力には少しコツがありますが、慣れるととても使えるツールです。



### ガイドライン7 興味を引くために多様なオプションを提供する

#### みんなの自由な掛け声で、ダンスもののり

##### 1 支援・配慮

習熟を助けるフィードバックを増大させる。

##### 2 説明

ダンスの授業では、恥ずかしさなどが、大きな課題となり、興味・関心を引き出すことが難しいです。そこで、生徒一人一人に自由な掛け声を促す。この掛け声は教師がほめること以上に生徒を励まし、ダンスを気持ちよく踊れることにつながります。



### ガイドライン9 自己調整のためのオプションを提供する

#### DEN(でん)を使ってクールダウン

##### 1 支援・配慮

対処のスキルや方略を促進する。

##### 2 説明

情緒等が不安定な生徒は集中力を継続することが困難な場合があります。これに対して「叱責」を繰り返している本人の心理的不安を募らせるばかりです。そこで、注意持続ができない時には、本人の申し出により、ほっとルーム(校内別室指導室)やDENを活用し、クールダウンができるようなルール作りをしています。



## 基本方針（8）：地域コミュニティの拠点としての取組の充実

### 具体的方策

- ① ヨガ部やダンス部、トレーニング部、ボードゲーム部など、地域やNPO・大学等と連携した多様な部活動を設置する。
- ② 地域と連携を図った地域の方々による第三学年全員面接を実施する。
- ③ 一人一ボランティア（外部ボランティア）を推奨する。

#### 数値目標

- 外部指導員の導入数が、全部活動の5割以上
- 年間1回以上、生徒の半数以上が地域等のボランティアに参加



#### 取組イメージ

##### 多様な部活動

本年度設置される新たな部活動・・・ヨガ部、ダンス部、トレーニング部、ボードゲーム部。英語部については、大学と連携。



##### 地域の方々との全員面接

2学期中に地域の方々に依頼し、三年生全員に対しての進路に向けた全員面接を行う。

##### 地域のボランティア

公益財団法人「えどがわボランティアセンター」や地域祭り等において、中学生が地域を担う人材の一人としてボランティアを実施。



## 基本方針（9）：学校情報の積極的な配信

### 具体的方策

- ① 動画等を配信しての積極的な情報発信を行う。

#### 数値目標

年間10本以上の動画の配信

取組イメージ

#### 篠中チャンネルの開設

動画配信等も含めて、区教委と相談をしながら、保護者、地域の方々に寄り添った親しみやすい情報の発信方法を研究

## 基本方針（10）：学校関係者評価の活用・充実

### 具体的方策

- ① 「地域とともにある学校づくり」の実践研究を行う。

#### 数値目標

区内学校、保護者、地域に向けての公開説明会の実施

取組イメージ

#### コミュニティースクール(CS)モデル校

江戸川区CSモデル校の指定を受けて、学校運営協議会を中心とした学校、保護者地域が一体となった学校作りを行う。



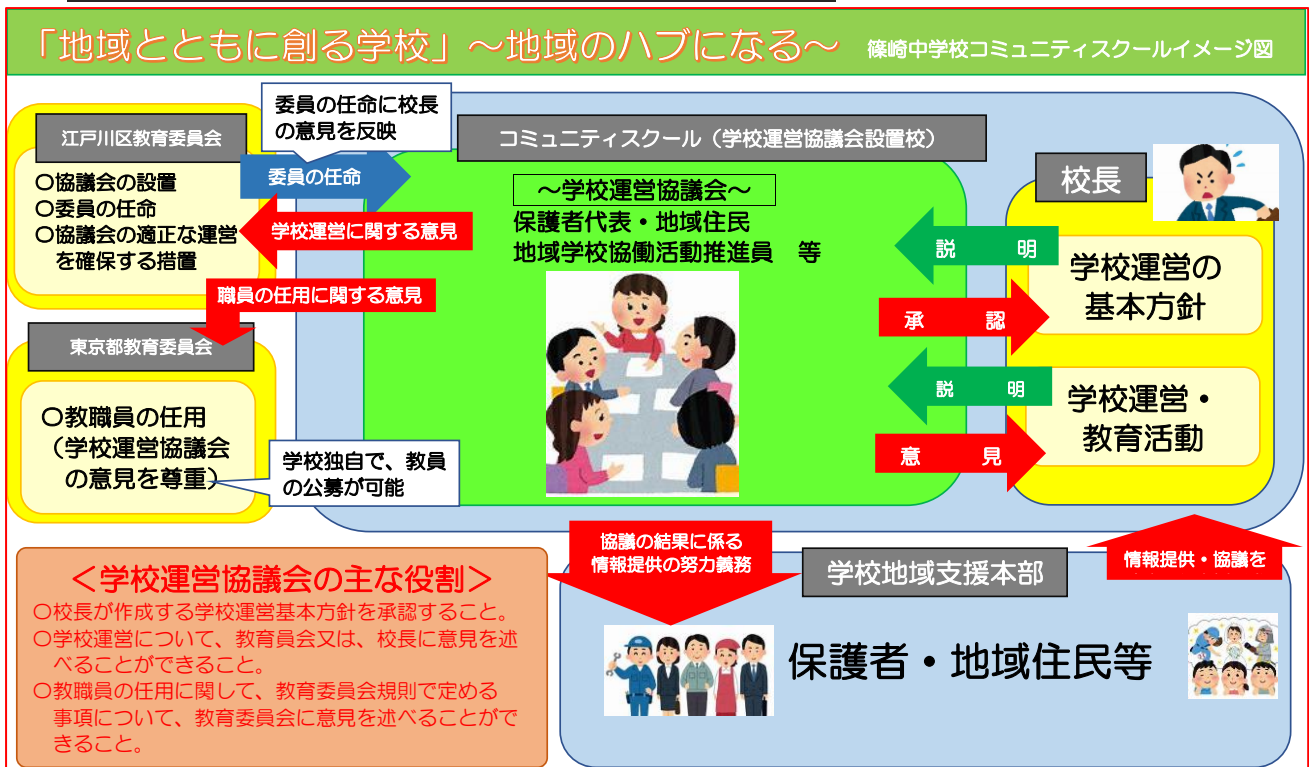
#### 江戸川区教育課題実践推進校（教育課題：特色ある教育）

テーマ：「地域とともに創る学校（地域のハブになる）」

令和6年度個別テーマ：「学びの多様化に向けて」

発表会：令和7年2月を予定

〔参考〕コミュニティスクール 篠崎中モデル（案）



令和6年度学校運営協議会委員（案）

- 保護者（3）  
篠崎中学校 PTA 会長、学区域内小学校4校から輪番2校のみ
- 地域住民（4）  
地域代表、保護司、民生主任児童委員
- 運営に資する活動を行う者（3）  
PTAOB 会代表、総合型地域スポーツクラブ代表、ボランティア受け入れ団体代表
- 学識経験者（2）  
本校元校長、元他区教育委員会教育指導課長
- その他（1）  
地域コーディネーター
- 校長（1）

令和6年度学校地域支援本部（案）

- 第三学年進路面談支援
- 部活動支援
- ボランティア受け入れ支援
- 不登校登校支援
- その他（特別支援教育、国際理解教育、）

## 基本方針（11）：教員の生徒と向き合う時間の確保

### 具体的方策

- ① 篠崎中学校「働き方改革推進計画」に基づいた働き方改革の進捗管理を丁寧に行う。



#### 数値目標

超過勤務時間、月 60 時間以内を年間 6 か月以上の教員が全体の 7 割（R4→概ね上記基準を満たしている）

### 取組イメージ

#### 働き方推進計画（概要）

- 1 管理職による取り組みの徹底
  - (1) 管理職の確固たる決意の発信
  - (2) 江戸川区立篠崎中学校における「働き方改革推進計画」の策定
  - (3) 「学校経営支援部」の設置による、学校業務の適正化、効率化
  - (4) 学年会計事務の分掌見直し（篠中モデルの確立）
  - (5) 学校校務分掌の平準化
  - (6) 教職員の在校時間縮減に向けた取り組み強化
  - (7) 担当業務における引き継ぎ書の作成
  - (8) 「部活動の活動指針」の策定及び実施
- 2 校内校務改善委員会による取り組みの提案・推進
  - (1) 会議の縮減、効率化
  - (2) 学校行事の見直し・修正
  - (3) 担任業務の平準化・簡素化
  - (4) 学校を介さない行事写真や教材等の集金システムの推進
  - (5) 定期考査の採点ソフトや業者テストの活用
  - (6) 清掃指導の精選
  - (7) 学校設備管理
  - (8) 保護者会・三者面談
- 3 教職員一人一人の意識改革に向けた取組の推進
  - (1) 職員室および机上の整理・整頓
  - (2) スクールサポートスタッフの効果的な活用
  - (3) 連絡掲示板の効果的な活用

## 基本方針（12）：より良い学校設備の整備・充実

### 具体的方策

- ① 学校のデッドスペースを活用した、教育スペースの確保・有効活用



#### 整理・整頓の手順

○今後の流れ

学校のデッドスペースの洗い出し

→整理・整頓すべき財産の洗い出し

→整理・整頓に係わる原案（含む予算案）

→原案を達成するためのスケジュール案周知

→整理・整頓

→継続してのチェック・確認

## 基本方針（13）：食育の推進

### 具体的方策

- ① 生徒の食育を意識したSDGs給食等の更なる充実をする。



（仮称）SDGs 給食参考例一部

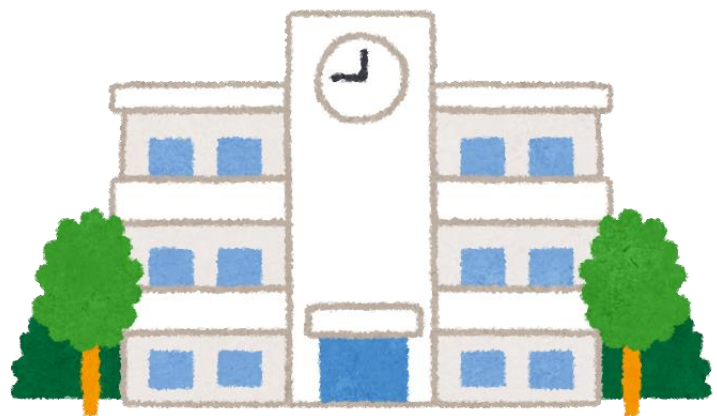


伝統食給食

焼きそばパン



栄養士と家庭科が連携した授業  
「生徒の考えたメニュー給食」







# 特別支援学級 ～ 8組～

※全体共通 通常学級と併せて、特別支援学級（8組）のみに対応した  
経営方針（計画）を記載

## 基本方針（1）：基礎的・基本的事項の定着

### 具体的方策

- ① 国語科・数学科・英語科（外国語科）において、学年の枠を超えた3クラス2～3展開の習熟度別学習を実施する。



#### 習熟度別学習

特別支援学級においては、通常の一斉指導を行うとともに、個別進度学習にも力点を置き、個に応じた学力向上を目指す。

## 基本方針（2）：学習指導要領に対応した教員の指導力向上

### 具体的方策

- ① 各教科等の目的や自立活動、作業学習等の目標を意識した適正な教育課程の編成をする。

#### 数値目標

教育課程に基づいた関連資料（各教科の年間計画）の見直し、改善。



#### 適正な教育課程の管理

「行事ありき」の年間計画を学習指導要領に準じた、より適正な年間計画に改善。



## 基本方針（3）：豊かなスポーツライフの実現に向けた取組の充実

### 具体的方策

- ① 朝のトレーニング週間を設定しての体力の向上をする。

#### 数値目標

1回は概ね1週間、学期に1回程度。



#### 主なトレーニング例

- ・体幹トレーニング（ラダー、ストレッチ等）
- ・バドミントン等の軽い運動
- ・特別支援体育連盟主催大会（陸上、バスケットボール）参加ための練習
- ・冬場の持久走
- ・リズム運動 等



## 基本方針（5）：生徒理解に基づいた支援の充実

### 具体的方策

- ① 野菜や雑巾販売、喫茶店などPTAと連携した作業学習を充実する。

#### 数値目標

PTAと連携した作業学習を年間1回以上実施。



取組イメージ

### PTAと連携した作業学習

PTA 予算から、作業学習に必要な教材費を投じて、物品の制作から販売までの一連の流れを作業学習の一環として実施する。



【中期目標 4】共生社会の実現に向けた教育の推進

## 基本方針（7）：共生社会に向けた特別支援教育の推進

### 具体的方策

- ① 日常的な交流及び共同学習の機会を設定し、交流及び共同学習の更なる充実をする。
- ② 全ての通常学級担当教員による年間1回以上の出前授業の受け入れ体制を構築する。

#### 数値目標

- 交流及び共同学習年間計画の作成
- 出前授業の年間実施計画の作成



取組イメージ

### 交流及び共同学習年間計画

実技教科だけでなく、給食指導や行事等、交流及び共同学習を年間を通して、意図的、計画的に実施できるようにするための年間計画。

### 出前授業年間実施計画

全ての通常学級担当教員が年間を通して、特別支援学級で出前授業を計画的に実施するために、学年や単元等を整理した年間計画。





# チャレンジクラス

## ～9組～

※全体共通 通常学級と併せて、チャレンジクラスのみに対応した  
経営方針（計画）を記載

## 基本方針（1）：基礎的・基本的事項の定着

### 具体的方策

- ① 国語科・数学科・英語科において、各教科担当教員を中心にチームティーチングを行い、学年の枠を超えた3クラス6展開の習熟度別自由進度学習の研究をする。
- ② 音楽科、美術科、技術科、家庭科については、各教科のねらいを維持させつつ、通称名「創造」とし、週時程に弾力性をもたせた指導を行う。
- ③ 定期考査を廃止するなど、評定によらない評価を行う一方で、個の学習進度に応じた実力テストを実施するなどして、学習の習熟の程度を確認する。

取組イメージ 

#### 習熟度別自由進度学習

概ね、小学校低学年、中学年、高学年、中1、中2、中3の6段階に分けた習熟度の中で、個に応じた進度で、遡り学習ができるような学習環境を作り、抜けのない学習を推進する。

## 基本方針（2）：学習指導要領に対応した教員の指導力向上

### 具体的方策

- ① 理科・社会科においては、生徒の選択した学習問題を設定し、自己の課題の解決に向けた調べる学習を実施し、定期的な学習発表会を実施する。

取組イメージ 

#### 参考授業例

社会科の歴史分野の江戸時代について、Aさんは、その時代の身分制度、Bさんは、文化、Cさんは、中心人物など、単元に応じたテーマを設定し、調べ、発表を行う。



## 基本方針（3）：豊かなスポーツライフの実現に向けた取組の充実

### 具体的方策

- ① 保健体育科「体づくり運動（体ほぐしの運動）」において、専門家等と連携した自律神経を整える運動、通称名「リラックス」の授業を実施する。



#### リラックス

保健体育科「体づくり運動（体ほぐしの運動）」の一部で行う授業の通称名



## 基本方針（5）：生徒理解に基づいた支援の充実

### 具体的方策

- ① 制服や体育着の着用を求めないなど、生徒の実態に応じた「きまり」の抜本的な見直しをする。
- ② 睡眠や食欲、腹痛、頭痛など、日々の記録を綴ることができる連絡帳「（仮称）マイライフ」を作成し、生徒一人一人の状況を把握した支援をする。
- ③ 登校後の朝の時間を活用し、ソーシャルスキルトレーニング（SST）を実施する。

取組イメージ

#### マイライフ

明日の持ち物だけでなく、前日の睡眠・食事等の状況のほか、当日の気分等についても記録を残せるような本校独自の生活手帳を準備し、記載させる。

#### ソーシャルスキルトレーニング

市販教材のロールプレイやゲームなどを通して、対人関係などのスキルを学ぶ時間を毎朝短時間行うようにする。

<例>

- きっかけ言葉を上手に使う。
- ついついしちゃうこと。
- 嫌な子がそばにきたら。
- 折り合いをつけよう。





## 基本方針（6）：不登校支援の充実

### 具体的方策

- ① 登校コースとオンラインコースを設定した指導体制を構築する。
- ② 従来の教室環境を一掃し、生徒がより主体的に学べる教室環境の整備・充実をする。
- ③ 「ほっとルーム」をプレ学級（準備学級）と位置付け、学習意欲の向上等、入級準備をする。
- ④ 年間を通じた農業体験やセカンドスクール等、平素と異なる生活環境での体験的な学習を実施する。

#### 数値目標

- 全生徒が、入級後、全体の出席すべき日数の内、85%出席



#### 従来の教室環境を一掃した教室環境

従来の椅子や机を一新し、個別最適化に適した学習環境を整える。

#### 平素と異なる生活環境での体験活動（参考例）

農業体験、都内ウォークラリー、ボーリング教室、都内宿泊を用いての学校生活。

## 基本方針（7）：共生社会の実現に向けた特別支援教育の推進

### 具体的方策

- ① 特別支援学級との交流給食を実施する。

#### 数値目標

- 1回1週間程度を目途に、年間3回実施。

## 基本方針（8）：地域コミュニティの拠点としての取組の充実

### 具体的方策

- ① ボランティアセンターと連携をした年間を通してのボランティア活動を案内、推奨する。

#### 数値目標

○本校部活動、もしくは、地域のボランティアサークルに年間を通して参加する生徒の割合が2割以上。

### 取組イメージ

#### 平素と異なる生活環境での体験活動（参考例）

- ・ポニーランドにおける馬の世話
- ・高齢者施設での介護
- ・水辺の環境整備 など

